途方もない時間

まだほとんど何も知らなかった日々が

地下鉄の延長の高架を走る電車
ビルの隙間から光る緑の中に

昔の終点の千里の丘から
ひとつ前の駅　向かって歩く

時を超えても落ち着いた風景
思い出すあの頃の期待と不安

途方もない時間ゆるやかに景色を変え
若かったあの頃にタイムトリップ

時代のページめくりながら
懐かしい軌道をたどってる

昭和の終わり　遠い日のざわめき

新御堂の真ん中　高架を走る電車
ビルが建ち並ぶ駅に戻ってきた

現実に戻る新大阪から
二つ前の駅　降りて歩く

いつも立ち寄るギターの店で
久しぶりに眺める類稀なもの

途方もない時間ゆるやかに好みを変え
若かったあの頃より深みを求めてる

時代のページめくっても
大切な記憶は色褪せない

まだほとんど何も知らなかった日々が
昭和の終わり　遠い日のざわめき